

学校運営協議会だより

令和8年7月14日

国立市立国立第一中学校

学校運営協議会 第2号

司会：石井 功（会長） 記録：久保光弘（副校長）

《協議内容》

- ・令和8年度「学校評価報告書」進捗について
- ・ふれあいアンケート結果について
- ・体育大会アンケート結果について
- ・地域学校協働活動推進員より進捗報告

《協議結果》

学校経営・学習環境について

- ・新1年生より1クラスの上限が40人から35人になり、1クラス約30人で授業が行われるため、通常の授業はもちろん、少人数授業などはさらにきめ細かな教育活動が行うことができるようになったと報告を受けました。
- ・職場体験に向けて、現時点で53件の事業所を確保して実施されること、マナー指導等の事前学習が行われていることを確認するとともに、生徒に「働くこと」の意義をさらに深く考えさせるような働きかけを学校に期待しています。
- ・先生方により定期試験の返却が大変丁寧かつ公正に行われている様子を見ることができました。保護者の方々にももっと知ってもらいたいと感じました。

生徒の安全と生活指導について

- ・各行事や不審者対応訓練が適正に実施されたこと、また学校連絡ツール「すぐーる」の配信が定着していることを確認しました。なお、施設の老朽化のためプールの使用が中止となった旨の報告を受けました。
- ・改定された「SNS 一中ルール」について、ルールが守られているかどうかのアンケート結果（割合等）を、生徒会等を通じて生徒へ直接フィードバックするなどして、生徒自身に課題を考えさせる取組を行うよう学校に求めました。あわせて、生徒のメディアリテラシーおよび情報リテラシーの強化を早めに推進していくよう要望しました。

いじめ防止と心の教育について

- ・いじめアンケートの結果から、軽い気持ちで傷つくことを言った、見て見ぬふりをした、と答える生徒が一定数いることが報告され、引き続き学校全体できめ細やかな見守りを続けていくことを確認しました。
- ・多様性の尊重を目的とした「カジュアルウィーク」の実施や、生徒自身が規則について考える機会が設定されていることを評価します。また、より生徒の心の痛みに寄り添えるよう、「ふれあい月間アンケート」の質問内容を工夫してはどうかと提案しました。
- ・アンケート等で家庭での不安を訴えた生徒に対しては、担任による聞き取りやスクールカウンセラー、状況に応じて児童相談所等とも連携し、解決を図る体制が整っていることを確認しました。

地域連携と情報発信について

- ・体育大会においては、PTA 主催のドリンクステーションが大盛況であったことや、コミュニティ部（今年度追加された手芸コースや、キャンバコース等）で、生徒たちが生き生きと活動している様子を確認しました。
- ・地域企業の協賛（飲み物の提供）を得た「放課後自習カフェ」が盛況であり、夏休み明けの登校へのスムーズな接続や終わっていない宿題のサポートの場として、8月24日～26日にも開設される予定です。
- ・国立無線クラブの協力を得た避難訓練など、地域と連携した取組が進んでいることを高く評価しています。
- ・今後、「セーフティ教室」への保護者参加者をさらに増やすための工夫や、生徒が作成した動画などの成果物を全校生徒へ共有する取組について検討するよう学校へ依頼しました。

第2回学校運営協議会は、主な協議内容について全て承認しました。

第3回の学校運営協議会は、令和8年9月28日(月)15時30分より開催します。

参加者 石井 功(会長) 佐藤路子(副会長)

大石 修 上原真弓 天笠倫子

(欠席 関 一博 板坂克二)

平井 愛(地域学校協働活動推進員)

田中 圭(校長) 久保光弘(副校長)

児玉 昇 岡田佳代子 宇都宮佐和子

折田憲侍 大代一貴 得能 朗